

「夏の皮膚疾患に使える漢方薬」

かねとも皮フ科クリニック

柳原茂人

漢方医学は、独特な診察法を用いて得られた患者情報をもとに、そこから難解な理論を経て漢方医学的病理病態を考察するという一種閉鎖的な側面をもつ学問形態として敬遠されがちである。しかし当科では、処方の選択に漢方理論は一切持ち込まず、エビデンスを重視した方剤選択のみによってその効果を実感している。ガイドラインを基本に、病態に合った漢方薬の使い方があることを、夏に悪化する皮膚疾患の治療を例に示したい。